

# 笑顔発信 全国ベスト8



天童・長岡小HP

子ども目線で学校伝える

天童市立長岡小学校(大泉徹校長)のホームページ(HP)が第10回全日本小学校ホームページ大賞(J-KIDS大賞)で、全国ベスト8に入った。子どもたちでつくるホームページ委員会が発信するブログが高い評価を得た。



天童市立長岡小学校  
 長岡小は「笑顔があふれる」  
 東京都内で表彰式があり、  
 41校のHP。今月2日に  
 で、選考対象は全国2万7  
 損保ジャパンなどの主催

HP。ブログは子ども目線で学校の様子を丁寧に伝えている」などと評された。

ホームページ委員会委員長で6年生の高橋佑大朗君は「長岡小のことを全国の人に知ってもらいたいと思って始めました。ベスト8に選ばれてうれしい」。町内会の雪灯籠つくりをブログで紹介した6年生の菊地優希さんは「1年間ずっと楽しく活動できた。コメン

トをもらえると、特にうれしい」と振り返った。  
 HPには子どもブログのほか、学校活動や給食を紹介するブログもある。東日本大震災後はツイッターやフェイスブックなどの活用も始めた。個人情報保護指針やHP作成規定をつくらせて保護者の理解を得たうえで、子どもたちの写真も多く掲載。ブログの更新を通じて情報リテラシーを身につける場にもなっている。  
 指導している鈴木伸治教諭は学校HPについて「子どもたちが学校や地域のよさを自分たちで発見し、自分たちの言葉で表現する重要な手段です」と話している。  
 (西尾邦明)

①天童市立長岡小のHP (http://www.dewa.or.jp/~t-naga01/)



# 長岡小HP 全国ベスト8

## 天童 いきいき写真毎日発信

天童市立長岡小学校(大泉徹校長、児童397人)が、全国2万741校が参加した「第10回全日本小学校ホームページ大賞」でベスト8に輝いた。県内で初めての快挙に、児童たちは大喜びしている。

コンテストは、慶応大や倉敷芸術科学大の教授や経済ジャーナリストらを実行委員に、損害保険ジャパンが事務局を務めている大

会。学校と保護者、地域がホームページ(HP)を通じてより良い関係を築くことなどを目的に2003年度から開催している。

長岡小は今年度、全国大会に先駆けて選出される県代表に2年連続で選ばれていた。

長岡小のHPは、多くの写真を使用するなどして、学校の情報を大量に公開しているのが特徴だ。1月17日に行われた4年生のスキーム教室では、215枚もの写真を掲載。給食の様子もメニューやおいしそうに食べる児童の笑顔をほぼ毎日、紹介している。選考では、「子供たちのいきいきとした表情を写しており、印象的。毎日見たくなる」などと評価された。

HPを製作するのは、鈴木伸治教諭(47)と、5、6年生13人でつくる「ホームページ委員会」の児童たち。児童たちは連日のように放課後に校内のパソコン教室



HPに掲載する文章などを作る「ホームページ委員会」の児童たち(天童市立長岡小で)

に集まり、HPに載せる文章を書いたり、写真を選んだりしている。

委員長の高橋佑太郎君(6年)は「こんなに評価され、うれしい。友達や近所の人から『HPを見たよ』と声を掛けられると、もっと頑張ろうと思う。見ている人が楽しくなるよう、丁寧な言葉遣いをして、明るい笑顔の写真をたくさん載せたい」と張り切っている。

児童の写真を大量に公開することに對して、当初は保護者からプライバシーを

不安視する声があったという。このため、HPには児童の個人名は一切載せず、外部から児童の顔と名前が特定できないよう、例えば、写真に写った名札をモザイク加工するなど配慮している。

鈴木教諭は「HPから『長岡小学校ではこんなことをやっています』と伝わることで、地域と学校との敷居を低くし、両者が一緒に子供たちを育てる環境ができていけば」と話している。